日刊
県民福井
2020年（令和2年）
12月1日（火）友引
日刊県民福井
購読・配達のお問い合わせは
0120-888-291
紙面のお問い合わせは
0776-28-8613
発行所 中日新聞福井支社
〒910-0005 福井市大手三丁目1番8号
電話 0776(22)0950
©中日新聞福井支社 2020

軽度の障害がある人

保護猫・犬と幸せに

同居できるグループホーム きょう福井にオープン

保護した猫や犬と生活する軽度障害者向けグループホーム「おーるわん」が一日、福井市江端町にオープンする。家庭のような居場所を提供するとともに、動物を殺処分から救う取り組み。動物との触れ合いを通して、入居者に癒やしの効果も期待される。経営する「オールワン」の石山大作社長(四三)は「障害者も健常者も動物も、みんな一つ。みんな一緒に幸せになれるよう協力したい」と意気込む。（成田真美）

▲上これから入居者と一緒に暮らす姉妹の子猫ハク(左)とコク　下グループホームの共用スペースで猫のコクを抱いた石山社長(右)と、ハクを抱いたサービス管理責任者の資格を持つスタッフ＝福井市のおーるわんで

おーるわんは軽度の精神、知的、身体障害がある十八～六十四歳の人を対象にしたグループホーム。個室とみんなで食事を取る共有スペースがあり、スタッフが二十四時間常駐する。朝夕の食事を提供し、就労支援もする。

最大の特徴は、動物と暮らせることだ。入居者は共有スペースで保護猫・犬と触れ合うことができる。世話は基本的にスタッフが担う。

一日から一緒に暮らすのは、姉妹の子猫コクとハク。あわら市の田んぼにいたところを県動物愛護センターに保護され、おーるわんが引き取った。石山社長は「入居者は動物に癒やされ、大切に思うようになるはず。命の大切さについて考える場になれば」と話す。

警備会社を経営する石山社長は昨年十二月、知人を通じて、ペット共生型の障害者グループホームを全国展開する会社の社長と出会い、話を聞いた。事業を通して人と動物の命を守れることに感銘を受け、「自分もやりたい」との思いが湧き上がった。二年前から迷い猫を会社で引き取って育てており、社員への癒やし効果も実感していた。

今年一月、グループホーム開設に向けて新会社「オールワン」を設立。徒歩圏内に福井鉄道江端駅や病院、大型商業施設がある好条件の土地を確保した。介護福祉士やサービス管理責任者の資格を持つベテランスタッフらを集め、準備を進めてきた。

動物共生型の障害者グループホームは県内では珍しく、県内の福祉関係者から注目を集めている。「このような取り組みが広がるよう先例を作りたい」と石山社長は意欲を見せる。

三棟を新築し、各棟に保護猫や犬がいる共用スペースと個室十室を設ける計画で、三棟のうち一棟が先行オープンする。二、三棟目は二〇二一年四月までに完成する見込み。

体験入居を経て正式に入居を決めてもらう。個室に自分のペットを持ち込むこともできる。利用料金（家賃や水道光熱費など）は一カ月七万三千五百円。国と市の補助を受けることもできる。問オールワン＝0776（38）7002

加畑皮膚科
福井市中央3-3-1
☎(0776) 21-6834
日本皮膚科学会認定 皮膚科専門医
院長 加畑大輔／加畑雅行

福井市で葉物野菜のカーボロ